



上 津波に襲われた市場前 11日午後4時3分
下 一瞬にして津波が引いていく 午後4時5分



大津波警報「避難指示」に33%の避難



上：津波に覆われた南埠頭 11日午後4時2分
下：津波が引き姿を現わした南埠頭 午後4時5分



津波注意報が発令され沿岸住民の避難が始まり、高台などへの最大避難者数は2,853人（推定）。避難率は33%と決して高い数字となっていません。

根室市が、海岸線に面し沿岸部に住宅があり、被害が予想される地域で、注意報や警報に伴う避難勧告等発令時に迅速な避難を実施するために抽出している地域は、太平洋側12地区（初田牛、落石、浜松、昆布盛、長節、花咲港、桂木、友知、双沖、歯舞、瑤瑤瑠、納沙布）、オホーツク海側20地区（槍昔、東梅、温根沼、幌茂尻、西浜町7～10丁目、岬町、平内町、弥生町、緑町、梅ヶ枝町、本町、鳴海町、千島町、海岸町、汐見町、琴平町、北浜町、豊里、温根元、牧の内）の

3,318世帯8,620人となっています。

津波はいつ起きるかわかりません。昼夜問わず沿岸に近い地域にいるときには、確かな情報に従い速やかに避難することが必要です。

東北地方太平洋沖地震により発生した津波の第1波が、花咲港に到達したのは地震発生から48分後でしたが、津波の到達は発生の場所や地形などで大きく変わります。「以前の津波は予想より小さかったから今回も大丈夫」などと、各自が判断することが一番危険なことです。注意報・警報がでたらすぐに避難をするということを、改めて認識し災害に備えましょう。



津波で岸壁に押し上げられた船舶

花咲港の高台に避難する市民
11日午後4時12分



津波が防潮堤を越え道路が冠水 11日午後4時12分

